



①手で土を掘る感触、土の香りは子どもたちの脳裏に焼き付くことでしょう。②③淑徳大学の学生と一緒に「さつまいもスタンプ」を作る様子。④三芳町ブースも設置。町のキャラクターストラップやぬいぐるみを販売。⑤小さな町、三芳町だからこそ繋がることのできる家族の輪。町の子育てイベントなどで知り合った家族が集まり参加してくれました。⑥掘りあげたおいもの大きさにびっくり。重さを実感ができることもいも掘りの醍醐味。⑦いも掘り会場に隣接した麦畑迷路。東京から近い町で、こうした貴重な体験ができるのは三芳町ならではの。



①顔よりもずっと大きいおいものを力いっぱい引っ張り、「抜けた!」と思った拍子にしりもち! ②いも掘り会場から離れた上富小学校の食ブース。町のマスコット「みらいくん」と「のぞみちゃん」が子どもたちを出迎えます。③食ブースにはさつまいもスティックやシットリ甘いシルクスイートで作ったケーキが大人気。④親子での参加者多数。家族の思い出の一コマとして残ることでしょう。⑤⑥地元淑徳大学の学生が作った「三富サンバ」を踊る皆さん。軽快なリズムで観客の心を驚つかみにしました。⑦三富新田の地割を見られる上富小学校屋上で最後のスタンプをギュッ!



敵な思い出を皆さんはさつまいもと一緒に持ち帰ったことでしょうか。



上富小学校に設置された食のブースでは、さつまいもを使った料理や、地元で採れた新鮮野菜の直売なども行われ、いも掘りと散策でペコペコのお腹を満たしてくれました。三芳の魅力がギュッと詰まったこの日。素敵な思い出を皆さんはさつまいもと一緒に持ち帰ったことでしょうか。

いも掘り以外にも素敵なイベントがたくさん。スタンプラリーや麦畑迷路、三富散策が行われたほか、町内の淑徳大学が作詞作曲、振り付けを考えた「三富サンバ」も披露。

田の畑で世界一のいも掘りまつりを開催しました。畑の畝の長さが約440メートルというところから「世界一」と銘打ち、町内外に広く三芳町の特産「さつまいも」をPRするために毎年10月に行われているこのイベント。今年は約600人が参加し、いも掘りを楽しみました。

鮮やかな青空、爽やかな風。子どもと一緒に、大人も無邪気になれる素敵な時間——。  
10月3日(土)、東京から一番近い「町」、三芳町が誇る三富新

# 世界一のいも掘りまつり

晴天に恵まれた10月3日(土)。約600人が参加した「世界一のいも掘りまつり」の様をお伝えします。

約440メートルという長い長いさつまいもの畝。自然と緑豊かな三芳町を象徴するような素敵な光景が辺り一面に広がります。

